

平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月25日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 フュージョンパートナー
 コード番号 4845 URL <http://www.fusion-partner.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 田村 健三
 (氏名) 南 陽子
 配当支払開始予定日

TEL 03-6418-3898
 平成24年2月24日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第2四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	835	53.1	130	69.5	124	57.9	101	592.7
23年6月期第2四半期	545	△4.7	76	24.3	79	44.8	14	△66.5

(注) 包括利益 24年6月期第2四半期 108百万円 (596.1%) 23年6月期第2四半期 15百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	728.19	—
23年6月期第2四半期	108.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年6月期第2四半期	1,751	1,445	82.5	10,347.19
23年6月期	1,722	1,379	80.1	9,879.11

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 1,445百万円 23年6月期 1,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	250.00	—	250.00	500.00
24年6月期	—	300.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	300.00	600.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,640	21.4	260	26.3	258	22.2	180	32.5	1,288.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期2Q	149,539 株	23年6月期	149,539 株
24年6月期2Q	9,863 株	23年6月期	9,863 株
24年6月期2Q	139,676 株	23年6月期2Q	135,301 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(5) セグメント情報等	P. 9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当企業集団は、事業の選択と集中を推進し、経営資源の効率化を進めるとともに、成長分野への人員増強による事業拡大等、企業価値の向上に努めました。

当第1四半期に引き続きSaaS/ASP事業及び言語処理関連事業の業績が好調に推移しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は835百万円（前年同期比53.1%増）、営業利益は130百万円（前年同期比69.5%増）となりました。

経常利益は、当第1四半期に営業外費用として発生した出資先投資事業組合における運用損7百万円等の影響があり、124百万円（前年同期比57.9%増）となりました。

なお、四半期純利益につきましては、平成23年12月に交付された修正平成23年度税制改正法および復興財源確保法における税率改正等の影響が生じたことにより、繰延税金資産の取り崩しが48百万円発生しましたが、法人税の繰り戻し還付金が30百万円あり、101百万円（前年同期比592.7%増）となりました。

セグメント別の状況は以下の通りであります。

○ SaaS/ASP事業

SaaS/ASP事業につきましては、デジアナコミュニケーションズ(株)が提供する検索結果に画像が表示されるサイト内検索サービス『i-search』の導入実績が増加し、当第2四半期では新たに(株)大京、アメリカンファミリー生命保険会社及び(株)日本旅行等に導入され、順調に推移しております。

Webサイト上での「よくある質問」の管理や社内情報共有管理ツールとして提供されている『i-ask』は、当第2四半期では新たに浜松市役所等に導入されました。

更に、関西テレビ放送(株)及び(株)テレビ朝日等には、総合マーケティングツール『i-entry』が導入されました。

また、当第1四半期において提供を開始した新たなSaaS/ASPサービスであるサイトプリントサービス『i-print』や、商品サイト管理システム『i-catalog』についても、順調に導入実績を伸ばしております。

『i-print』は、Webページをワンステップでイメージ通りにPDF化できるサービスであり、『i-catalog』は、商品ページの作成、公開、更新が一元で管理可能な、商品紹介ページ管理システムです。

月額固定サービスの特質である毎月の積み上げにより、売上高は累積的に増加しており、その結果、当事業における売上高は429百万円（前年同期比16.6%増）と順調に推移いたしました。

○ 言語処理関連事業

言語処理関連事業につきましては、(株)ニューズウォッチが、新たな事業収益体制の構築に向けた諸施策を迅速に実施してまいりました。

同社は、企業及び個人向けニュース配信・検索サービス、サイト内検索サービス、情報ポータルサイト『フレッシュアイ』の運営等、独自の自然言語処理・フィルタリング技術及びインターネット検索技術を活用したサービスを提供しております。

当第2四半期では、同社の運営する『フレッシュアイモバイル』を中心としたモバイルサイトの広告売上が堅調に推移するとともに、スマートフォンへの対応として最適化表示を行うことで、収益化が進んでおります。

また、当社のフレッシュアイペディアのコンテンツを、サイト訪問者へのわかりやすい用語解説コンテンツとして提供する『ペディアプラス』が、NTT番号情報(株)及びワイデックス(株)等大手メディアサイトに導入され、ダイキン工業(株)及び(株)三越伊勢丹等にはサイト内検索サービス『サイトナビプラス』が導入されました。

その結果、当事業における売上高は332百万円となりました。

○ データベース事業

データベース事業につきましては、データベース・コミュニケーションズ(株)の基幹データベース管理システム『M204』の売上は、大手金融機関向けのメインフレームプロダクトが前期に終了したことにより、41百万円となり、前年同期比で39百万円の減少となりました。

また、特許管理システム『PatentManager』の売上は31百万円となり、前年同期比で10百万円の増加となりました。

その結果、当事業における売上高は73百万円（前年同期比30.0%減）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ29百万円増加し、1,751百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加39百万円、有価証券の取得による増加80千円、繰延税金資産の取り崩しによる減少48百万円、のれんの償却による減少17百万円及び投資有価証券の運用損等による減少11百万円等によるものであります。

（負債）

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ36百万円減少し、306百万円となりました。その主な要因は、長期借入金の返済による減少20百万円等によるものであります。

（純資産）

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ65百万円増加し、1,445百万円となりました。その主な要因は、四半期純利益101百万円の計上及び配当による剰余金の減少34百万円の発生等によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年8月15日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

SaaS/ASP事業につきましては、サイト内検索サービス『i-search』、Webサイト上での「よくある質問」の管理や社内情報共有管理ツールとして提供されている『i-ask』、総合マーケティングツール『i-entry』及び企業の電話窓口等で、音声による自動音声応答を行うシステム『IVR』等、SaaS/ASP型サービスの月額固定売上が順調に増加しており、売上高は850百万円と大幅な増収を見込んでおります。

言語処理関連事業につきましては、前期では半期の連結であったのに対し、当期では通期で寄与してまいります。引き続き、企業及び個人向けニュース配信『Brain』『Infocast』の拡販に努めるとともに、情報ポータルサイト『フレッシュアイ』『フレッシュアイモバイル』の有効活用及びサイト内検索サービス『サイトナビプラス』、企業サイト向けコンテンツ提供サービス『ペディアプラス』等の拡販に努め、売上高650百万円を見込んでおります。

データベース事業につきましては、メインフレーム向け基幹データベース管理システムから、知的財産分野の製品・サービスへのポートフォリオ転換を推進しております。特許管理システムは、大手製造業向けに堅調に推移すると予想され、売上高140百万円を見込んでおります。

以上のことから、連結売上高は1,640百万円(前年同期比21.4%増)と見込んでおります。

連結営業利益につきましては260百万円(前年同期比26.3%増)、連結経常利益につきましては258百万円(前年同期比22.2%増)としております。

連結当期純利益につきましては、繰延税金資産の取り崩しが発生するものの、180百万円(前年同期比32.5%増)としております。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	633,601	673,580
受取手形及び売掛金	191,130	219,371
有価証券	—	80,005
仕掛品	640	2,412
その他	97,982	68,215
流動資産合計	923,354	1,043,585
固定資産		
有形固定資産	45,576	38,687
無形固定資産		
のれん	328,474	311,088
その他	6,986	6,902
無形固定資産合計	335,460	317,991
投資その他の資産		
投資有価証券	126,148	114,915
繰延税金資産	236,230	179,145
その他	56,054	57,570
貸倒引当金	△114	△57
投資その他の資産合計	418,319	351,573
固定資産合計	799,356	708,252
資産合計	1,722,711	1,751,838
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,429	34,491
1年内返済予定の長期借入金	40,000	40,000
未払法人税等	8,826	6,144
その他	124,026	103,062
流動負債合計	198,282	183,697
固定負債		
長期借入金	140,000	120,000
その他	4,554	2,886
固定負債合計	144,554	122,886
負債合計	342,836	306,584

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,133,011	1,133,011
資本剰余金	661,498	661,498
利益剰余金	△124,965	△58,173
自己株式	△297,678	△297,678
株主資本合計	1,371,865	1,438,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,008	6,596
その他の包括利益累計額合計	8,008	6,596
純資産合計	1,379,874	1,445,254
負債純資産合計	1,722,711	1,751,838

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
売上高	545,582	835,549
売上原価	252,102	364,444
売上総利益	293,480	471,104
販売費及び一般管理費	216,755	341,078
営業利益	76,725	130,026
営業外収益		
受取利息	399	222
受取配当金	2,750	2,750
有価証券売却益	1,074	—
その他	917	2,266
営業外収益合計	5,140	5,239
営業外費用		
支払利息	393	1,377
有価証券売却損	578	—
投資事業組合運用損	819	7,983
その他	1,006	1,069
営業外費用合計	2,797	10,430
経常利益	79,068	124,834
特別利益		
貸倒引当金戻入額	24	—
特別利益合計	24	—
特別損失		
関係会社株式売却損	131,815	—
その他	1,500	—
特別損失合計	133,315	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△54,222	124,834
法人税、住民税及び事業税	3,327	4,853
法人税等還付税額	—	△30,656
法人税等調整額	△72,233	48,927
法人税等合計	△68,906	23,124
少数株主損益調整前四半期純利益	14,684	101,710
四半期純利益	14,684	101,710

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,684	101,710
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	875	6,596
その他の包括利益合計	875	6,596
四半期包括利益	15,559	108,307
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,559	108,307
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△54,222	124,834
減価償却費	7,787	9,951
のれん償却額	2,323	17,385
投資事業組合運用損益(△は益)	819	7,983
有価証券売却損益(△は益)	△496	—
関係会社株式売却損益(△は益)	131,815	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	114	△56
受取利息及び受取配当金	△3,149	△2,972
支払利息	393	1,377
売上債権の増減額(△は増加)	△63,505	△28,184
たな卸資産の増減額(△は増加)	8,987	△1,772
仕入債務の増減額(△は減少)	△58,453	9,061
その他	5,477	21,105
小計	△22,107	158,713
利息及び配当金の受取額	2,910	2,760
利息の支払額	△868	△1,314
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△6,524	22,418
営業活動によるキャッシュ・フロー	△26,589	182,577
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,609	△5,649
無形固定資産の取得による支出	△1,210	△1,229
投資有価証券の取得による支出	△151,875	—
投資有価証券の売却による収入	87,621	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△164,353	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	103,237	—
貸付金の回収による収入	844	814
その他	△9,653	△2,565
投資活動によるキャッシュ・フロー	△141,998	△8,629
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	—
短期借入金の返済による支出	△300,000	—
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△20,000
自己株式の処分による収入	65,100	—
配当金の支払額	△25,897	△33,963
財務活動によるキャッシュ・フロー	239,202	△53,963
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	70,614	119,984
現金及び現金同等物の期首残高	695,532	633,601
現金及び現金同等物の四半期末残高	766,146	753,585

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

（セグメント情報）

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年7月1日 至平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	ASP事業	データベ ース事業	プロモー ション事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	368,220	105,316	71,802	545,339	243	545,582	—	545,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,600	—	—	3,600	—	3,600	△3,600	—
計	371,820	105,316	71,802	548,939	243	549,182	△3,600	545,582
セグメント利益	140,525	28,005	1,687	170,218	154	170,372	△93,647	76,725

(注) 1 セグメント利益の調整額△93,647千円は、セグメント間取引消去△3,600千円、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用△90,047千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年7月1日 至平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	SaaS/ASP 事業	言語処理 関連事業	データベ ース事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	429,420	332,404	73,723	835,549	—	835,549	—	835,549
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,790	30	—	4,820	—	4,820	△4,820	—
計	434,210	332,434	73,723	840,369	—	840,369	△4,820	835,549
セグメント利益	177,014	48,581	16,226	241,821	△93	241,727	△111,701	130,026

(注) 1 セグメント利益の調整額△111,701千円には、セグメント間取引消去△4,820千円、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用△106,881千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。